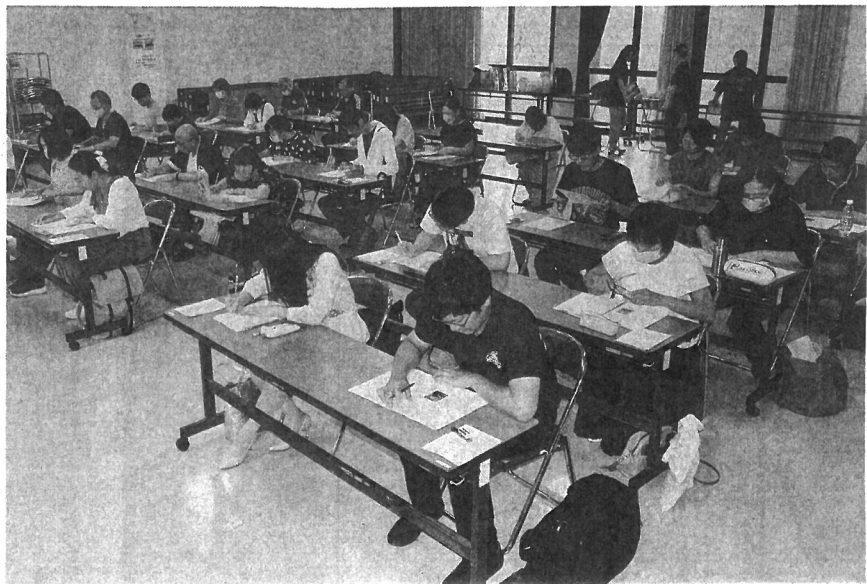


柳井日日新聞

発行所 柳井市金屋区 436 〒742-0022
 (株)柳井日日新聞社
 編集発行人 友座 泰
 電話 0820-22-0758
 FAX 0820-22-2775
 購読料 1ヶ月1,512円
 (郵送 1,620円)
 振替口座01550-3-005438
 (火・木・土曜日発行)



山口のあまのこ真ん中に
果乃乃季
 KASHIWAKI
 柳井市柳井5275
 Phone(0820)22-0757
柳井市人口・世帯数
 (7月末現在)
 ●世帯数 15,296 (-23)
 ●人口 29,803人
 ●人口性 13,914人
 男女 15,889人
 (前月比 -37人)
 外国人 2,47人



金魚博士めざし、29人受験

柳井市 第1回金魚ちゃん検定開催

地元出身の女子大生が問題作成 全40問、合格者はわずか4人だけ

柳井市観光協会(木阪泰之会長)主催の「第1回金魚ちゃん検定」が10日、市文化福祉会館で初めて開催され、県内外から29人が参加し、金魚博士(満点者)めざし、地元出身の女子大生らが考案した難問に挑戦した。

今回、同協会が今年度から新設した「大学よる地域活動」柳井知生部会の一事業として、また、1984年(昭和59年)に白壁の町並み古市金屋地区が、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから、来年度で40周年を迎えることから、そのブレイブイベントを兼ねて企画。

新設した大学生部会は、同協会が大学内の地域つながりプロジェクト2023(学生よる地域活動)柳井知生部会の一事業として、つちよる?柳井を活性化したい?事業に取り組んでいる広島市の広島修道大学の女子学生5人(いずれも2年生)に金魚ちゃん検定開催を要請し、実現した。

メンバーは、いずれも柳井中、柳井商工高校卒業の二上叶夢さん(19・商学部)と井沢なつみさん(20回)井村美結さん(20の3人)、佐々木綾さん(19・商学部、広島市出身)と山本杏奈さん(19・法学部)を加えた5人で活動。今年6月から本格的に活動をスタートさせ、11月2日の会議やLINEの情報交換、協会の連絡も密に行い、検定で出題する問題などについて協議を重ねてきた。

今回、30人の申し込み(定員30人)があったが、検定当日は1人欠席の29人(男性14人、女性15人)が参加。年代は10代から60代まで幅広く、居住地は柳井市域を中心に、県外は東京



「(金魚)が与えられることになったというが、採点の結果、銅賞が4人市内の男性だけだった。いずれにしても超難問の「金魚ちゃん検定」は満点者こそ出なかったが、受験者は改めての金魚ちゃん検定の歴史の奥深さを学ぶことができたのではなからうか。

木阪会長は今回、大学生の協力により、検定を初めて開催することができ、また多くの方々に受験していただき感謝したい。合格者はわずか4人だけだったが、次回(開催日未定)はぜひとも金魚ちゃん検定に関心を持ってもらうことが重要で、市観光協会としても柳井の金魚ちゃんを国内外に発信していきたい」と話していた。

(写真上は初開催の金魚ちゃん検定に取組む受験者。下は検定の問題作成などに協力した広島修道大学の女子学生5人)

美結さん(20の3人)、佐々木綾さん(19・商学部、広島市出身)と山本杏奈さん(19・法学部)を加えた5人で活動。今年6月から本格的に活動をスタートさせ、11月2日の会議やLINEの情報交換、協会の連絡も密に行い、検定で出題する問題などについて協議を重ねてきた。

今回、30人の申し込み(定員30人)があったが、検定当日は1人欠席の29人(男性14人、女性15人)が参加。年代は10代から60代まで幅広く、居住地は柳井市域を中心に、県外は東京

「柳井津で最初に金魚ちゃんを製作した人が経営する店の屋号を答えなさい」(約100年前の金魚ちゃん)と現在の金魚ちゃんを比べ、変化した点について5点ほど述べなさい」

「柳井金魚ちゃん祭りの開催日は何月何日ですか」

など受験者たちは、事前に配布された「傾向と対策集」について学んできたが、想像以上の難問ばかりで、頭を抱えて問題を解く姿が見られた。

検定は1時間で終了し、解答合わせまでは、問題監修者の松島幸夫さんが金魚ちゃん検定の歴史などについて講演した。

80点以上が合格者となる今回の検定。80点台には「銅賞」、90点台には「銀賞」として、100点満点には「金魚ちゃん博士」の称号(金賞)が与えられることになったというが、採点の結果、銅賞が4人市内の男性だけだった。いずれにしても超難問の「金魚ちゃん検定」は満点者こそ出なかったが、受験者は改めての金魚ちゃん検定の歴史の奥深さを学ぶことができたのではなからうか。

「写真上は初開催の金魚ちゃん検定に取組む受験者。下は検定の問題作成などに協力した広島修道大学の女子学生5人」

柳井市観光協会(木阪泰之会長)主催の「第1回金魚ちゃん検定」が10日、市文化福祉会館で初めて開催され、県内外から29人が参加し、金魚博士(満点者)めざし、地元出身の女子大生らが考案した難問に挑戦した。

今回、同協会が今年度から新設した「大学よる地域活動」柳井知生部会の一事業として、また、1984年(昭和59年)に白壁の町並み古市金屋地区が、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから、来年度で40周年を迎えることから、そのブレイブイベントを兼ねて企画。

新設した大学生部会は、同協会が大学内の地域つながりプロジェクト2023(学生よる地域活動)柳井知生部会の一事業として、つちよる?柳井を活性化したい?事業に取り組んでいる広島市の広島修道大学の女子学生5人(いずれも2年生)に金魚ちゃん検定開催を要請し、実現した。

メンバーは、いずれも柳井中、柳井商工高校卒業の二上叶夢さん(19・商学部)と井沢なつみさん(20回)井村美結さん(20の3人)、佐々木綾さん(19・商学部、広島市出身)と山本杏奈さん(19・法学部)を加えた5人で活動。今年6月から本格的に活動をスタートさせ、11月2日の会議やLINEの情報交換、協会の連絡も密に行い、検定で出題する問題などについて協議を重ねてきた。

今回、30人の申し込み(定員30人)があったが、検定当日は1人欠席の29人(男性14人、女性15人)が参加。年代は10代から60代まで幅広く、居住地は柳井市域を中心に、県外は東京

柳井法人会 税に関する絵はがきコンクール

公益社団法人柳井法人会(小野悟会長、市教委、柳井税務署、柳井県税事務所、柳井21回税に関する絵はがきコンクール)と、中国納税貯蓄組合連合会主催の「中学生の税についての書写」の審査していた。

小野会長は、絵はがきコンクールは、柳井管内8小学校から415点応募(51点)と、

優秀賞に高東蓮君ら12人

柳井市観光協会(木阪泰之会長)主催の「第1回金魚ちゃん検定」が10日、市文化福祉会館で初めて開催され、県内外から29人が参加し、金魚博士(満点者)めざし、地元出身の女子大生らが考案した難問に挑戦した。

今回、同協会が今年度から新設した「大学よる地域活動」柳井知生部会の一事業として、また、1984年(昭和59年)に白壁の町並み古市金屋地区が、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから、来年度で40周年を迎えることから、そのブレイブイベントを兼ねて企画。

新設した大学生部会は、同協会が大学内の地域つながりプロジェクト2023(学生よる地域活動)柳井知生部会の一事業として、つちよる?柳井を活性化したい?事業に取り組んでいる広島市の広島修道大学の女子学生5人(いずれも2年生)に金魚ちゃん検定開催を要請し、実現した。

メンバーは、いずれも柳井中、柳井商工高校卒業の二上叶夢さん(19・商学部)と井沢なつみさん(20回)井村美結さん(20の3人)、佐々木綾さん(19・商学部、広島市出身)と山本杏奈さん(19・法学部)を加えた5人で活動。今年6月から本格的に活動をスタートさせ、11月2日の会議やLINEの情報交換、協会の連絡も密に行い、検定で出題する問題などについて協議を重ねてきた。

今回、30人の申し込み(定員30人)があったが、検定当日は1人欠席の29人(男性14人、女性15人)が参加。年代は10代から60代まで幅広く、居住地は柳井市域を中心に、県外は東京

犯罪被害者等支援 ミニパネル展開催

山口被害者支援センター主催の「犯罪被害者等支援ミニパネル展」が9月12日(土)から14日(月)まで、柳井市大島町上岡町、防大島町、上岡町、平生町など県内2市4町で行われる。

令和3年4月に県犯罪被害者等支援条例が施行されたことに伴い、犯罪被害者等の置かれた状況や犯罪被害者等支援の必要性などについての理解を深め、もたらおうと、毎年同展を実施している。

9月19日(土)和木町文化会館
 9月25日(土)防大島町役場
 10月2日(土)上岡町総合文化センター
 10月26日(土)光市総合福祉センター
 10月27日(日)平生町役場
 12月7日(土)防府市役所1号館

フィンランド グラスアート展

特別展示「フィンランド・ガラスアート」と同時開催の「ムーミンの食卓とコンヴィヴィ」

開館時間は、9時～17時。休館日は、9月25日、10月10日、16日、23日、11月13日、20日。観覧料は、一般1500円

車・中古車 トータル販売
 (有)マイカーセンター

祝 敬老の日
 2023.9.18

CHOU CHOU
 Pâtisserie du Saison
 シェパル